



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月29日

上場会社名 協栄産業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 水谷 廣司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 市河 明 TEL 03-3481-2111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	45,012	4.6	△33	—	△123	—	△171	—
26年3月期第3四半期	43,033	0.4	△181	—	△228	—	△381	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 533百万円 (24.6%) 26年3月期第3四半期 428百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△5.62	—
26年3月期第3四半期	△12.52	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	37,305	14,356	38.5
26年3月期	35,088	13,552	38.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 14,356百万円 26年3月期 13,552百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
27年3月期	—	2.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	2.9	400	△8.5	300	△20.2	200	—	6.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	31,935,458株	26年3月期	31,935,458株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,435,730株	26年3月期	1,430,173株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	30,502,672株	26年3月期3Q	30,509,471株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げ後の個人消費の低迷や円安に伴う原材料高による収益低下など景気落ち込みからの回復にもたつきが見られましたが、堅調な設備投資や良好な雇用環境が景気の下支えになり、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外では、好調な米国経済に牽引される一方で、中東の政情不安や中国をはじめとする新興国の景気の伸び悩み等により、先行き不透明感がぬぐえない状況となりました。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社（以下当社グループ）が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図るとともに、諸経費の削減など収益改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は450億1千2百万円、前年同期に比べて4.6%の増収、営業損失は3千3百万円（前年同期営業損失1億8千1百万円）、経常損失は1億2千3百万円（前年同期経常損失2億2千8百万円）、四半期純損失は1億7千1百万円（前年同期四半期純損失3億8千1百万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

## (商事部門)

・売上高 359億2千1百万円（前年同期比4.6%増）

・営業利益 4億7千9百万円（前年同期比7.3%増）

商事部門においては、第2四半期までは堅調に推移いたしましたが、第3四半期では利益面で低調となりました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

## &lt;半導体デバイス事業&gt;

半導体分野では、自動車関連は堅調に推移いたしましたが、白物家電関連に関しては第3四半期での取引先の生産減により低調に推移いたしました。また、産業機関連は回復傾向が続きましたが、全体としては低調に推移いたしました。

電子デバイス分野では、スマートフォン関連が順調となり、全体としては堅調に推移いたしました。

## &lt;電子材料事業&gt;

コネクタ分野では、自動車関連は堅調に推移いたしましたが、第3四半期ではスマートフォン関連やゲーム機用は低調に推移し、全体としては低調に推移いたしました。

半導体リードフレーム分野は、全体に調整傾向で、低調に推移いたしました。

## &lt;FA・環境システム事業&gt;

産業メカトロニクス分野では、第3四半期にレーザ加工機関連は低調に推移いたしました。

FA機器分野では、半導体製造装置関連は堅調に推移いたしました。

環境ビジネス分野では、太陽光発電関連の引き合いはありますが、電力会社の認定保留等により第3四半期に入り商談が停滞傾向にあり、苦戦いたしました。

## (IT部門)

・売上高 33億1千5百万円（前年同期比0.6%減）

・営業利益 1億8千6百万円（前年同期比8.1%減）

IT部門においては、売上は比較的堅調に推移いたしましたが、利益面では苦戦いたしました。

なお、IT部門では、9月及び3月に売上及び利益の計上が集中する傾向にあります。これは従来からの業界傾向であります。

事業別の詳細は以下のとおりです。

## &lt;ビジネスソリューション事業&gt;

建設関連システムは、パッケージ販売は堅調に推移いたしました。

エンドユーザー向けシステム開発は、主要ユーザーからの受注が堅調に推移いたしましたが、利益面では低調となりました。

サービス提供型ビジネスは、全般に堅調に推移いたしました。

受託ソフト開発は、電力関連向けを中心に堅調に推移いたしました。

<エンベデッドシステム事業>

エンベデッドシステム事業は、専用ボードシステム等で自社製品の伸びはありましたが、カーナビ関連は開発の立ちあがりの遅れ等により低調となりました。

また、公共業務関連の受託開発は、堅調に推移いたしました。

<IC設計事業>

IC設計事業は、回復傾向で推移いたしました。

(製造部門)

・売上高 58億2千7百万円 (前年同期比8.0%増)

・営業利益 2億8千8百万円 (前年同期比54.3%増)

製造部門においては、売上・利益ともに堅調に推移いたしました。

<プリント配線板事業>

アミューズメント向け基板は、堅調に推移いたしました。精密機器向け及びOA機器向けモジュール基板、車載向け基板は、堅調に推移いたしました。

海外で行っているフレキシブル基板ビジネスは堅調に推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて22億1千7百万円増加し、373億5百万円となりました。

- ・流動資産は、受取手形及び売掛金7億6百万円の増加、商品及び製品6億3千4百万円の増加等により、13億5千5百万円増加し、298億6千万円となりました。
- ・固定資産は、投資有価証券6億1千万円の増加、退職給付に係る資産2億2百万円の増加等により、8億6千2百万円増加し、74億4千5百万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金23億7千8百万円の増加等により、25億7千4百万円増加し、176億5千7百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金10億4千万円の減少等により、11億6千1百万円減少し、52億9千1百万円となりました。

この結果、純資産は、8億4百万円増加し、143億5千6百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の38.6%から0.1ポイント減少し、38.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月13日公表の連結及び個別の業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日(平成27年1月29日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務年数に近似した年数の単一の利回りを使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均利回りを使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が406,068千円減少し、利益剰余金が394,292千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ3,998千円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,222,477	6,156,908
受取手形及び売掛金	14,529,012	15,235,139
電子記録債権	689,003	593,801
商品及び製品	5,686,363	6,321,348
仕掛品	673,274	1,033,159
原材料及び貯蔵品	136,955	184,267
繰延税金資産	189,051	128,785
その他	380,455	209,729
貸倒引当金	△1,646	△3,109
流動資産合計	28,504,946	29,860,029
固定資産		
有形固定資産	2,789,656	2,718,574
無形固定資産	288,090	378,970
投資その他の資産		
投資有価証券	2,770,063	3,380,788
退職給付に係る資産	—	202,034
繰延税金資産	14,841	22,804
その他	806,503	826,928
貸倒引当金	△85,725	△84,384
投資その他の資産合計	3,505,683	4,348,172
固定資産合計	6,583,429	7,445,717
資産合計	35,088,375	37,305,747
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,076,145	12,454,258
短期借入金	2,203,356	2,257,756
1年内返済予定の長期借入金	1,420,000	1,395,000
未払法人税等	93,603	23,799
賞与引当金	295,518	115,801
工事損失引当金	—	1,252
その他	994,365	1,409,191
流動負債合計	15,082,989	17,657,061
固定負債		
長期借入金	4,750,000	3,710,000
繰延税金負債	471,705	747,242
役員退職慰労引当金	217,875	100,250
退職給付に係る負債	324,971	30,146
その他	688,761	704,126
固定負債合計	6,453,312	5,291,765
負債合計	21,536,301	22,948,827

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,235	3,120,235
利益剰余金	6,756,074	6,856,793
自己株式	△417,850	△419,009
株主資本合計	12,620,279	12,719,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	839,860	1,252,379
為替換算調整勘定	13,733	307,345
退職給付に係る調整累計額	78,200	77,357
その他の包括利益累計額合計	931,794	1,637,081
純資産合計	13,552,074	14,356,920
負債純資産合計	35,088,375	37,305,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	43,033,066	45,012,125
売上原価	38,301,692	40,019,966
売上総利益	4,731,373	4,992,159
販売費及び一般管理費	4,913,284	5,025,937
営業損失(△)	△181,910	△33,777
営業外収益		
受取利息	1,058	1,100
受取配当金	45,305	55,905
為替差益	127	—
その他	65,029	46,129
営業外収益合計	111,519	103,135
営業外費用		
支払利息	109,866	98,026
為替差損	—	41,960
債権売却損	16,104	18,876
その他	32,467	33,879
営業外費用合計	158,438	192,743
経常損失(△)	△228,829	△123,384
特別利益		
固定資産売却益	2,318	104,107
投資有価証券売却益	26,452	25,060
投資有価証券清算益	6,978	—
特別利益合計	35,749	129,168
特別損失		
固定資産除却損	30,819	15,607
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—	502
特別損失合計	30,819	16,109
税金等調整前四半期純損失(△)	△223,900	△10,325
法人税、住民税及び事業税	97,419	74,516
法人税等調整額	60,644	86,716
法人税等合計	158,064	161,233
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△381,964	△171,558
四半期純損失(△)	△381,964	△171,558



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△381,964	△171,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	591,631	412,518
為替換算調整勘定	218,715	293,611
退職給付に係る調整額	—	△843
その他の包括利益合計	810,346	705,286
四半期包括利益	428,381	533,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,381	533,727

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	34,318,628	3,321,805	5,392,632	43,033,066
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	14,265	14,777	2,371	31,414
計	34,332,893	3,336,583	5,395,003	43,064,481
セグメント利益	446,883	203,119	187,201	837,203

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	837,203
全社費用(注)	△1,019,114
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△181,910

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	35,900,581	3,286,969	5,824,574	45,012,125
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	21,097	28,077	2,973	52,148
計	35,921,679	3,315,047	5,827,547	45,064,273
セグメント利益	479,649	186,571	288,758	954,979

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	954,979
全社費用(注)	△988,757
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△33,777

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。